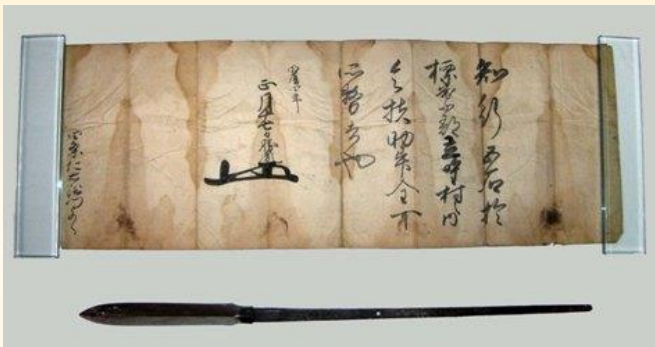


南相馬市博物館 企画展

## 相馬の武士 町に住む武士・村に住む武士

平成21年1月24日(土) ~ 3月15日(日)

約300年も続いた江戸時代、まさしく將軍徳川家を頂点とした“武士の時代”でした。ここ相馬地方では、大名相馬家が城下町中村(現在の相馬市中村)を中心に支配していました。



在郷給人・四條家に伝わる奥州中村藩三代藩主・相馬忠胤(勝胤)の知行宛行状と鑓(伝三百一本の鑓)の穂先

江戸時代の武士は、「兵農分離」により、江戸や城下町といった町に住むことが一般的でした。しかし、当地方には、こうした町に住むもののほか、村々に住み武士でありながら農業を営んでいたものがあるなど、多種多様な武士が存在しました。

今回、そうした奥州中村藩の武士の全容を明らかにするため、藩の軍事・政治組織や家格、さらにその変遷を中心に紹介します。すなわち、藩主相馬家をはじめ、「御一家」、「家中武士」、「在郷給人郷土」それぞれに関する資料を展示し、それぞれの家格について生活の様子も含めた紹介、そして明治維新を迎え“武士の時代”の終えんによるかれらの変様、とくに城下町から村へ「土着」した武士たちの状況について紹介します。

◆観覧料

区分	個人	団体
一般	400円	350円
高校生	200円	150円
小中学生	100円	80円

団体料金は20名様以上 市内に居住・通学する小中学生は無料  
 障がい者の方は無料(手帳をご提示ください)

◆講演会

演題 「奥州相馬氏家中について」  
 講師 二上裕嗣氏(南相馬市博物館収集展示委員・歴史部会長)  
 日時 平成21年2月15日(日) 13時30分～  
 聴講無料(聴講整理券が必要です)

◆当館学芸員による展示解説会

平成21年1月25日(日) ①10時30分 ②13時30分

### しらべる・つたえる・まもる

今年も、ふるさとの自然や歴史を学ぶため、幼稚園から大学生まで、たくさんの方々が来ています。

「昔の道具しらべ」「歴史学習」「報徳仕法」「南相馬の自然環境」「野馬追のいまむかし」など各学年のテーマにあわせて調べ学習が行なわれています。



「土面作り」(左: 原一小6年生)や、「昔の道具しらべ」(右: 鳩原小4年生)などをはじめ、さまざまな体験学習や調べ学習から、ふるさとの歴史や自然を伝えていきます。

## 鹿島歴史民俗資料館より

鹿島歴史民俗資料館 企画展

# 僕たち私たちの

# たからもの 宝物

鹿島区少年少女化石探検隊のあゆみ

平成20年12月13日(土)～21年3月22日(日)



### サブディクトモセラス (アンモナイト)

原町区 中ノ沢層産

探検隊員の根本凱くんが  
みつけたアンモナイトです。

その他、探検隊のみなさん  
が見つけた、いろいろな化石  
を展示しています。

今回の企画展では、鹿島区地域教育課主催事業「鹿島区少年少女化石探検隊」の活動のあゆみと、隊員の子供たちが採集した化石を紹介します。

また、化石の解説文には、資料名だけでなく、採集した隊員の名前・顔写真・発見した時の感想文を添えています。子供達の喜びの言葉を通して、少年少女化石探検隊の活動が学習だけでなく、積極的な行動を育むという面でも効果を与えていることを紹介します。

アンモナイトや二枚貝、シダ・ソテツなど、探検隊のみなさんがみつけた宝物(化石)をぜひごらんください。

### 鹿島歴史民俗資料館

開館時間 9:00～16:45 休館日 毎週月曜日 ※月曜日が祝・休日などの場合は開館、その翌平日が休館日

入館料 大人：110円 小・中学生：無料 ※団体20名以上半額 障がい者の方は無料南相馬市内に居住・通学の高校生は無料

問い合わせ 鹿島区西町三丁目1 電話・FAX：0244-46-4281

## 南相馬市博物館より

常設展示室 ミニテーマコーナー

# 和船

平成20年12月16日(火)～21年3月31日(火)

かつて、市内の海岸から漁に出た一貫丸いっかんまる・二貫丸などと呼ばれた小型木造船もけいの模型と実物の部品しびきあみりょう、地引網漁ぢびきあみりょうの写真などを展示し、木造船と当時の漁業ぎんぎょうを紹介します。



北萱浜の地引網漁(昭和28年)

写真：井川芳己氏提供



一貫丸模型

製作：上原孝夫氏



## 近刊のご紹介

博物館では、『企画展図録』のほか、『研究紀要』『近世文書』などいろいろな出版物を発行しています。ここでは、最近発行されたものを紹介します。

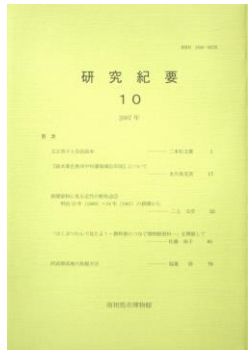
出版物の問い合わせは南相馬市博物館まで。

### 研究紀要 第10号

平成20年3月発行 A4判 68頁 600円

博物館学芸員の調査研究成果をまとめたものです。第10号の内容は下記のとおりです。

「文正草子と奈良絵本」(二本松文雄)・  
「『紙本著色奥州中村藩領域沿岸図』について」(水久保克英)・  
「新聞資料に見る近代の野馬追②」(二上文彦)「はくぶつかんで見たよ!—教科書につなぐ博物館資料—を開催して」(佐藤祐子)・  
「阿武隈高地の魚類方言」(稲葉修)



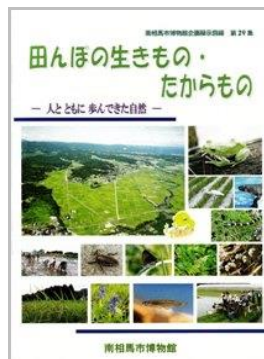
### 企画展図録 第29集

「田んぼの生き物・たからもの—人とともに歩んできた自然」

平成20年10月発行 A4判 72頁 500円

平成20年10月9日から12月7日まで開催された企画展の図録です。

市内の田んぼにみられる動物や植物について紹介するとともに、生き物との共生を目指す農業や工事事例についても提案しています。



### DVD「南相馬の炭焼き」

平成20年3月制作 43分 1,000円

原町区高倉で行なわれている、炭焼き(すす)づくりを通して、その歴史や工法を紹介しています。

この作品は、今年12月1日、地域文化デジタル化推進協議会主催の第6回全国地域映像コンクールで「優秀賞」を受賞いたしました。

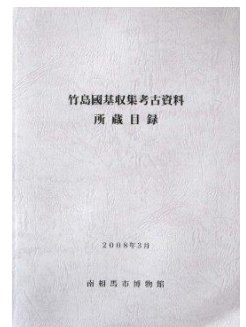


### 「竹島國基収集考古資料所蔵目録」

平成20年3月発行 A4判 312頁 1,000円

当館に寄贈された故竹島國基氏収集資料のうち、調査・整理が終了した考古資料の収蔵資料目録です。

平成5年(1993)に逝去した故竹島國基氏は、旧原町市に住んでいた郷土史研究者で、同氏が昭和初期から長年に渡り収集してきた考古資料のコレクションは、斯界において高い評価を受けています。

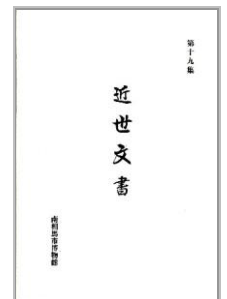


### 近世文書第19集

平成20年3月発行 A4判 68頁 600円

『近世文書』は市内に所在する古文書の中から、地方史研究の資料として解読し発行しているものです。

掲載資料の『万勘定諸式箇条規定書』は、江戸時代中ごろ、中村藩の勘定奉行などをつとめた紺野達義が、勘定方に関わるさまざまな職務についてまとめたものです。



## 職場体験 博物館の仕事って?

9月11・12日の2日間、原町第二中学校の2年生2名、9月30日~10月2日の3日間、原町第一中学校の2年生3名が職場体験に来ました。

小学校のころから何度も見学に来ていて、よく知っている博物館ですが、どんな仕事をしているの?どんな資料があるんだろう?など、たくさん疑問を持ってやってきました。

博物館に来たお客さんとの対応や、収蔵庫などに保管されている資料の取り扱い方や整理の仕方、学芸員の専門的な仕事など、博物館の舞台裏の一部を体験してもらいました。

博物館に展示されている資料は、どんなふう選ばれて展示していくのか、また、資料からわかることなどを学び、博物館が地域で果たす役割を、少しでも知ってもらえたかと思います。



ちょっぴり緊張しながらも、資料の取り扱い方を勉強中!



# 南相馬市博物館の催し物

12月～3月

※申し込みはお早めに。定員になり次第締め切ります。  
問合せは 南相馬市博物館 0244-23-6421

期 日	タイトル	詳 細
12月23日(火) 天皇誕生日	体験学習 「正月飾り作り」	10:00～12:00 定員 20名 講師 安藤安子氏 正月に玄関を飾る注連飾りを作り、年中行事の中でも特に重要な正月行事について学びます。 【材料費】300円
1月25日(日)	体験学習 「南相馬のたんぼ③ —かわいい田んぼの 冬鳥を観察しよう」	10:00～12:00 定員 20名 講師 杉内慶夫氏(日本野鳥の会南相馬支部) 市内の田んぼにやってくる冬鳥を観察します。どんな鳥が見られるかは観察会当日のお楽しみ。双眼鏡は当館で貸し出しもいたします。 【持ち物】暖かい服装と温かい飲み物 (ご自分の双眼鏡や野鳥図鑑をお持ちいただいても結構です)
2月7日(土)	講座 「南相馬の歴史 —資料で見る近現代の 原町と周辺の町村—」	13:30～15:30 定員 50名 講師 今村昭司氏(前南相馬市博物館長) 議事録や新聞資料で見る時代のかおりを紹介します。
2月21日(土)	講座 「中村藩武芸者列伝」	13:30～15:30 定員 50名 講師 二上文彦学芸員 中村藩の武芸者の中には、超人的な面白いエピソードを持った達人たちがいます。そんな彼らのエピソードを交えながら、中村藩の武芸を紹介します。
3月7日(土)	講座 「市内の外来種 —ブラックバスを中心として」	13:30～15:30 定員 50名 講師 稲葉修学芸員 市内の池や沼に生息するブラックバス(オオクチバス)やアメリカザリガニなどの外来種。その問題点やこれからの水辺環境について考えます。
3月14日(土)	講座 「陸奥国府と地方官衙(仮)」	13:30～15:30 定員 50名 講師 外部講師 古代の陸奥国府・多賀城と、行方郡を中心とする各部との関わりについて解説します。
3月29日(日)	講座 「相馬の焼き物」	13:30～15:30 定員 50名 講師 水久保克英主任学芸員 相馬駒焼・大堀相馬焼を中心に江戸期から明治期にかけての当地方の焼き物について紹介します。



お正月用の注連飾りを作りましょう  
「正月飾り作り」



田んぼでどんな冬鳥が見られるでしょう?  
「南相馬のたんぼ③  
—かわいい田んぼの冬鳥を観察しよう」

## 「古文書解読講座」【初心者向け】

1月11日・2月1日・3月1日

今年度は、戦国時代の相馬の歴史について書かれた江戸時代の記録書「東奥中村記」をテキストとします。

13:30～15:30 定員 20名

【持ち物】原稿用紙・筆記用具

※通常毎月第1日曜日開催

(1月は第2日曜日開催です)

## 各館のご利用案内

### 南相馬市博物館

問合せ 〒975-0051 原町区牛来字出口 194 電話: 0244-23-6421 FAX: 0244-24-6933  
E-Mail: hakubutsukan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00～16:45(最終入館は16:00まで)

休館日 毎週月曜日および年末年始(12月29日～1月3日) ※月曜日が祝・休日の場合は開館、その翌平日が休館日となります。

観覧料 一般300円(250円) 高校生200円(150円) 小中学生100円(80円) ( )は20名以上の団体料金です。

※企画展開催中は観覧料が異なることがあります。市内に居住・通学する小中学生は無料です。障がい者の方は無料です。(手帳をご提示ください)

### 鹿島歴史民俗資料館

問合せ 〒979-2334 鹿島区西町三丁目 1 電話・FAX: 0244-46-4281  
E-Mail: k-shiryokan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00～16:45

休館日 毎週月曜日および年末年始(12月29日～1月3日) ※月曜日が祝・休日などの場合は開館、その翌平日が休館日となります

観覧料 一般110円(団体は20名以上半額) 中学生以下無料 ※市内に居住・通学の高校生は無料です。障がい者の方は無料です。(手帳をご提示ください)